



別所だより

横浜市立別所小学校

令和8年4月20日発行



自ら考えて行動する6年生

副校長 小澤 真由美

今年度、別所小学校に着任いたしました、副校長の小澤真由美（こざわ まゆみ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。4月7日の着任式の際、着任者が礼をするたびに、一緒にお辞儀をし、挨拶をしてくれる子どもたち。そんな素直でかわいらしい姿に心が温かくなりました。新学期を迎え、校内を巡りながら教室をのぞいてみると、どの教室からも明るい声が聞こえてきました。新しい友達や先生と笑顔で関わる姿、授業では話をよく聞き、真剣な表情で学習に取り組む姿など、子どもたち一人ひとりが新しい環境の中で前向きに学校生活を送っている様子が伝わってきました。

そのような中、特に6年生の活躍が随所で見られます。朝の登校班では、歩く速さがまだ安定しない1年生に自然と歩調を合わせ、後ろを気にかけてながらゆっくりと進む6年生の姿があります。せかすことなく、安心して歩けるよう見守るその姿勢に、最高学年としての心遣いが感じられました。

また、昇降口では、靴箱の場所が分からず戸惑っている1年生に、6年生がそっと近づき、視線を合わせて「お名前は？」とやさしく声をかけていました。一緒に靴箱を確認しながら案内する6年生と、安心した表情でうなずく1年生。その何気ないやり取りが、学校生活への不安を和らげ、大きな安心感につながっていることを感じました。

6年生は、言われて動くのではなく、状況を見て自ら考え、行動しています。その姿は下級生たちにとって大きな目標であり、「あんな6年生になりたい」という憧れを育てています。これから委員会活動や行事を通して、さらに活躍の場が広がっていくことを期待しています。

5月は環境に慣れる一方で、心や体の疲れが出やすい時期でもあります。学校では、子どもたちの様子を丁寧に見取り、安心して過ごせるように支えてまいります。保護者・地域の皆様の温かいご支援に感謝しながら、今後も子どもたちの成長を大切に見守っていきたいと考えています。